



安管とやま

第126号
令和7年
春号

発行者 一般社団法人 富山県安全運転管理者協会

ごあいさつ

一般社団法人 富山県安全運転管理者協会 副会長 飯田 修平



安全運転管理者選任事業所の皆様を始め安全運転管理者等の方々並びに県警察をはじめとした関係機関の皆様には、平素から当協会の事業に深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、令和6年度中の安全運転管理者講習は10年振りに受講率が100%となったことをはじめとし、各種交通安全諸活動を円滑、かつ効果的に推進することができ、1月15日には全日本交通安全協会会長から優良安全運転管理者協議会として表彰もいただいたところであります。

さて、昨年の富山県内における交通事故の発生状況につきましては、皆様のお力添えにより、交通事故の死者数は22人で、1945年の統計開始以降最小となっております。しかし、死亡者のうち65歳以上の高齢者は16人と7割以上を占めております。昨年の特徴としては、飲酒運転による交通人身事故が多かったことで、12月末時点で28件発生しており、過去5年間で最も多く、死者は2人、重傷者は5人に上っております。また、昨年、JAFによる「信号機のない横断歩道における車の一時停止率調査」結果が公表され、富山県は停止率が31.6%と前回調査から18.4ポイント減少しております。飲酒運転は言語道断で論を俟ちませんが、横断歩行者がいる場合の一時停止等を励行させることは、運転者のマナーアップの実践と交通事故を抑止するための義務であります。各事業所の皆様には、今後も交通事故の特徴を踏まえた交通安全教育や交通事故防止活動の推進に、なお一層のご配慮をお願い申し上げます。

当協会と致しましては、本年も安全運転管理者講習の一層の充実を図るとともに安全運転管理者選任事業所の皆様方と連携して、効果的な交通安全活動を推進し、交通事故の抑止に尽力する決意を新たにしております。安全運転管理者等の皆様には、この様な交通情勢をご認識のうえ、本年も引き続き、企業一体となった交通安全活動の推進に取り組んでいただくとともに、当協会の運営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

むすびに、各事業所の益々のご繁栄と皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



～運転中のながらスマホは厳禁です！～

乗ったら見ない！
鳴っても出ない！
スマートフォン

ご存じですか？

令和6年11月1日から
自転車であっても、
「ながらスマホ」「酒気帯び運転」
は処罰の対象です。

★酒気帯び(政令数値0.15mg/1以上)→3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。
※補助行為も対象となります。



一般社団法人 富山県安全運転管理者協会



事務局 〒931-8336 富山市高島町二丁目11番45号 富山県警察富山北庁舎内
TEL (076) 471-8440 FAX (076) 471-8225
URL <http://www.toyama-ankan.or.jp>

当協会は、各地区安全運転管理者部会(協議会)からの分担金等で購われています。

令和6年中の県内の交通死亡事故(21件22人)

令和6年中の県内の交通人身事故発生件数は、平成13年以降24年連続で減少、交通事故死者数は22人で、昭和20年の統計開始以降、最も少くなりました。これまでの年間死者数の最少は令和2年の26人でした。

事故類型別死者数 ()内は高齢者数(内数)

車対車 2人 (1人)	車対人 12人 (11人)	車単独 6人 (4人)	車対自動二輪車 2人 (0人)
-------------------	---------------------	-------------------	-----------------------



交通死亡事故の特徴



★死者の約7割以上が高齢者!!

死者22人中、65歳以上の高齢者が16人(構成率72.7%)

★高齢歩行者の横断中の事故が多い!!

歩行中の事故死者12人のうち、横断中の事故死者は8人(内7人が高齢者)

★歩行者事故の多くは夜間に発生!

歩行中の死者12人のうち、夜間の死者は10人(内9人が高齢者)と8割以上を占めた。



★原因の多くが前方不注意!

最も多い事故原因は、前方不注意10件
次いで多いのは、横断歩行者等妨害等など交通違反6件、また、飲酒運転の死亡事故も発生



富山県内の交通事故発生概況 (5年の数値は確定値、6年の数値は暫定値)

区分	発生件数(件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
	全事故	安全運転管理者選任事業所	全事故	安全運転管理者選任事業所	全事故	安全運転管理者選任事業所
6年	1,858	196	22	2	2,130	216
5年	1,878	151	31	2	2,108	172
前年比	-20	+45	-9	±0	+22	+44

・安全運転管理者選任事業所の人身事故は、発生件数・負傷者数とも前年に引続き増加しています。死者数は昨年と同じでした。安全運転管理者等の皆様には、引き続き事業所における交通安全教育や運転者等に対する「思いやり運転の励行」を徹底していただき、交通安全・交通事故防止をお願いいたします。

令和6年度 全国表彰を 安全運転管理者2名・1事業所・当協会及び1部会が受賞

1月14日・15日、東京において「第65回交通安全国民運動中央大会」(主催:全日本交通安全協会・警察庁)が開催され、秋篠宮皇嗣同妃殿下ご臨席の下、内閣総理大臣、衆・参両議長、国家公安委員長及び警察庁長官等関係者が出席し、本会議が開催されました。

本会議では表彰式が行われ、富山県からは、

◇交通栄誉章緑十銀賞

【警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰】

松嶋幸夫 様 (松嶋建設株式会社)

太田和也 様 (太田配管株式会社)

◇交通安全優良事業所【全日本交通安全協会会長表彰】

黒部市農業協同組合 様

◇優良安全運転管理者協議会【全日本交通安全協会会長表彰】

(一社)富山県安全運転管理者協会 ※当協会

氷見市交通安全協会安全運転管理者部会

が受賞されました。



交通安全活動だより



黒 東

12月19日、黒東地区安全運転管理者部会と黒東交通安全協会は、「交通安全クリスマスツリー」を朝日町のショッピングセンターアスカ前に設置して、年末の交通安全運動期間中の活動重点である「飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶」「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」の願いを交通安全アンバサダーが取り付けるクリスマスツリーの点灯式を行い、点灯式の後に買い物客等に対し飲酒運転の根絶と夜間の交通事故防止を呼びかけるキャンペーンを実施しました。



黒 部

4月5日、黒部市安全運転管理者部会は、黒部市役所で開催された「春の全国交通安全運動出発式」に関係機関団体とともに出席し、終了後には、市役所前を通行するドライバー等への「交通事故防止」の広報活動を実施いたしました。
各季交通安全運動期間中には、「のぼり旗の掲出、安全運転1・2・3運動の励行」など、事業所内においても積極的に交通安全活動を実施しました。



魚 津

12月7日、魚津市交通センター安全運転・運行管理者部会のダイハツ魚津店において、年末の交通安全県民運動に向け「健康安全運転講座」を開催し、理学療法士による運転能力維持向上に役立つ健康指導等を実施しました。



滑 川

年末の交通安全県民運動期間中の12月13日、「飲酒運転根絶の日」に、交通安全のぼり旗の一斉掲揚を実施しました。

滑川市交通安全管理者部会と交通安全関係団体とともに、上小泉西交差点において、朝の出勤時間帯に運転するドライバーに対して、飲酒運転根絶のぼり旗を掲揚して注意喚起しました。



上 市

7月11日、「横断歩道思いやりの日」に上市町ショッピングタウン「パル」において、安全運転管理者部会等から委嘱を受けたセーフティレディーと上市区域交通安全協会女性部のメンバーが来店客に対して啓発チラシや交通安全ストラップを配って、「思いやり運転よろしくをお願いします。」交通安全を爽やかに呼び掛けました。



立 山

立山町安全運転管理者部会幹事役員は、秋の全国交通安全運動前日の9月20日午前9時から、立山町交番駐車場において、松嶋部会長や青木上市署長らの挨拶を受けた後、部会長以下幹事役員が4班に分かれて町内の各事業所へ交通安全メッセージ（舟橋立山町交通事故防止対策協議会長、青木上市署長、河本協会長、松嶋部会長4名の連名入り）と運動チラシ等を持って訪問し、訪問先事業所で交通安全メッセージを朗読し、これを手渡して事業所における交通事故防止を呼びかけました。



富山中央

8月3日午前7時半から、新庄本町にある河上金物株本社前でを行いました。

旧盆の時期は、夏の解放感や過労・飲酒等に起因する交通事故が多発していることから、早朝に通行するドライバーに対して、チラシや眠気ざましの「注意んガム」、栄養ドリンクなどを手渡して交通安全を呼びかけました。

会員など約20名が参加しました。



富山南

7月10日午後2時から、富山市下大久保地内の「大久保ふれあいセンター」において、令和6年度「交通安全の集いin富山南」が開催されました。第一部では、優良事業所3社並びに優良安全運転管理者2名の表彰を行った後、最後に参加者全員で大会宣言の採択を行い、事業所における安全運転管理の徹底を誓いました。第二部では、社会人落語家（高座名：安野屋仁楽齋）でありフリーアナウンサーでもある牧内直哉さんの交通安全創作落語があり、会場は笑いに包まれていました。



富山西

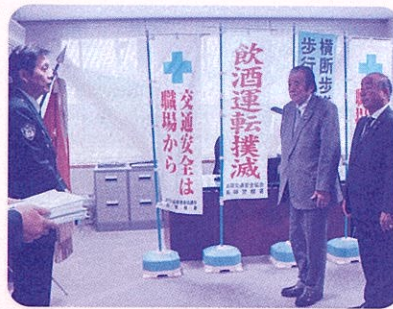
11月27日、富山西警察署管内の商業施設において、「横断歩道マナー・ルールアップ(ル)」と題し、横断歩道におけるドライバーの交通マナー・ルールのアップ(ル)を目的に、交通安全チラシとりんご(アップル)を入れたもの200セットを来店客に配布し交通安全を呼びかけました。

交通安全活動だより



射水

12月10日午前10時から、射水警察署において、射水安全運転管理者部会は、会員から集めた飲酒運転根絶等を誓う署名簿（131事業所 8,577人分）を射水警察署長に提出しました。



高岡

信号機がない横断歩道の停止率が全国最下位であったことや依然として飲酒運転が高止まりであることなどを踏まえ、年末の交通安全県民運動の初日に、角玄会長、林副会長、野上副会長が出席し、古川高岡警察署長に事業所227社から寄せられた9,630名の署名簿を提出しました。



氷見

12月10日、氷見警察署において、氷見市交通安全協会安全運転管理者部会の西川隆宏部長は、坂本靖彦氷見警察署長に交通安全宣言署名簿を提出しました。氷見市内の48事業所が、「横断歩道での歩行者優先、飲酒・暴走運転を絶対にしない、交通ルールの遵守、安全運転とマナー向上」に努めることに賛同し署名しました。



砺波

12月11日午前10時から、砺波安全運転管理者部会の6名は、「しょうがわ認定こども園」の園児19名と砺波警察署3階講堂において、園児が書いた願い事の反射材付きカードをクリスマスツリーに飾り付けて点灯式を行い、交通安全を願いました。

また、点灯式後は園児達はクリスマスソング2曲とハンドベルでの演奏を披露しました。

最後に「たてやま君」と一緒に横断歩道の渡り方等を学習しました。



南砺

11月8日、南砺市交通安全協会安全運転管理者部会は、市内171事業所から16人参加の研修会を開催し知識醸成と親睦を深めました。研修内容は、交通事故多発現場2か所を検証し、南砺署警察官から交通事故概要や事故防止対策の説明、品質第一主義等を掲げるコマツNTC株式会社及びNHK富山放送局を見学しました。参加した男性は「スタジオ内の照明の明るさに驚いた」と話されました。



小矢部

9月24日、小矢部安全運転管理者協議会は、協議会が委嘱するマイカーレディとともに協議会に登録する事業所の株式会社越路ガーデン、株式会社柴田組に対し、「全座席シートベルト着用推進モデル事業所看板」を贈呈し、事業所従業員・来訪者等に対し「全座席シートベルト着用」と「交通安全」を呼びかけました。

富山県安全運転管理者協会

当協会は、東京都内で開催された「第65回交通安全国民運動中央大会」において、交通安全の推進功労として、全日本交通安全協会様から「優良安全運転管理者協議会表彰」を拝受しました。

これまで引き立て頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。引き続き協会として交通安全活動の推進に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



あんカーくん



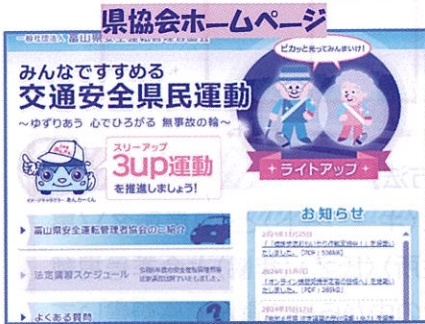
令和7年1月15日(水) 14時より
 第65回交通安全国民運動中央大会会場
 主催 一般社団法人全日本交通安全協会 警察庁
 後援 内閣府 文部科学省 国土交通省

安全運転管理者協会

からのお知らせ

富山県安全運転管理者協会は、車社会における事業所の社会的責任を果たすため、各地区部会・協議会等と緊密な連携を図りながら、安全運転管理者及び副安全運転管理者の資質の向上と安全運転管理業務の改善に努め、交通事故のない安全で安心できる交通環境の実現を目指します。

広報・啓発活動



安管とやまの発行



研修会の開催



総会における講演会

安全運転
管理業務
への支援

大会の開催・表彰等

その他



安管・事業所表彰式



安全運転管理者講習会



交通安全DVD
等の貸出し



会費は次のように使われています！

皆様の会費は、事業所における安全運転管理に資する資料等の配布や貸出用交通安全用DVDの購入のほか、各種講習会、研修会、優良安全運転管理者・事業所等の表彰、交通安全のぼり旗や車両貼付用マグネット板の配布、各種助成など、事業所の安全運転管理の支援に関わる経費として使われています。各地区安全運転管理者部会・協議会へのご加入と地域の交通安全活動にご協力よろしくお願ひします。

県内の各地区安全運転管理部会・協議会

入会を希望される方や交通安全DVDの貸出などについては、県協会又は事業所所在地の安全運転部会等まで気軽にお問合せください。

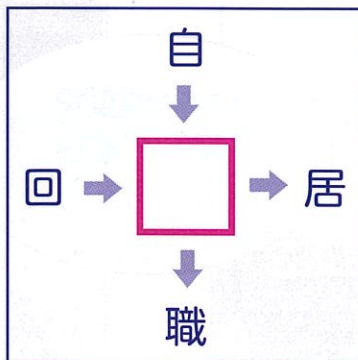
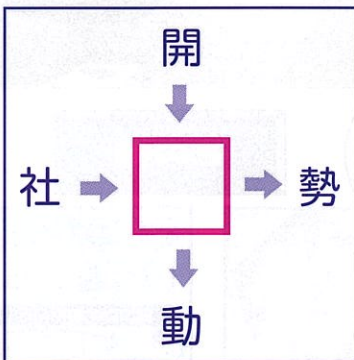
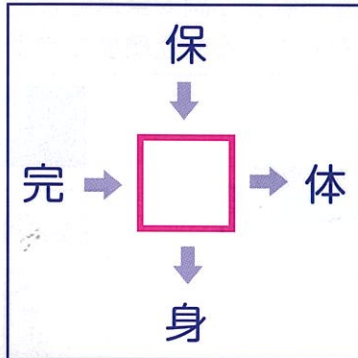
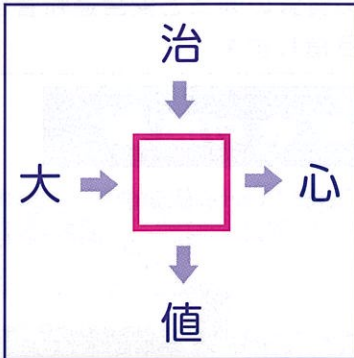
黒東地区安全運転管理者部会	入善警察署内	☎0765-74-2255	富山西安全運転管理者部会	富山西警察署内	☎076-465-1718
黒部市安全運転管理者部会	黒部警察署内	☎0765-52-1056	射水安全運転管理者部会	射水警察署内	☎0766-30-2518
魚津市交通センター安全運転・運行管理者部会	魚津交通センター内	☎0765-22-1299	高岡安全運転管理者協議会	高岡警察署内	☎0766-22-0763
滑川安全運転管理者部会	滑川警察署内	☎076-475-7829	氷見市交通安全協会安全運転管理者部会	氷見警察署内	☎0766-91-0459
上市区域交通安全協会安全運転管理者部会	上市警察署内	☎076-472-0855	砺波安全運転管理者部会	砺波警察署内	☎0763-33-1802
立山町交通安全協会安全運転管理者部会	上市警察署立山交番内	☎076-463-1222	南砺市交通安全協会安全運転管理者部会	南砺警察署内	☎0763-52-7425
富山中央安全運転管理者協議会	富山中央警察署内	☎076-444-1199	小矢部安全運転管理者協議会	小矢部警察署内	☎0766-68-1041
富山南交通安全協会安全運転管理者部会	富山南警察署管内	☎076-421-0730	富山県安全運転管理者協会	富山北庁舎内	☎076-471-8440

事業所の交通事故をゼロにして、地域から悲惨な交通事故をなくしましょう！

商品付き 交通安全クイズ

□に入る漢字で「キーワード」を完成させて下さい。

穴埋め二字熟語 漢字クイズ



正解者の中から
抽選で5名の方に
役立つ商品を
お贈りいたします。

キーワード

--	--	--	--

【応募方法】
白紙に〈キーワード〉と〈事業所名〉〈事業所住所〉〈氏名〉〈年齢〉と今季号掲載の記事の中から一つ選んで感想書いて当協会宛にFAXでお送りください。
応募FAX 076-471-8225

締め切り 3月31日

編集雑記 ~価値を認め、人を守る~

見えないものに価値を認めることができますか？
 空気に価値を認めること、健康であること、幸せであること、そして、安全であることに価値を認めることができますか？
 危機に瀕した命を救出すれば、誰からも大きな評価を受けます。大地震の後、瓦礫の下から消えかけた命を救出する、凶悪犯人に拉致された被害者を救出する、それは誰からも賞賛され、高い評価を得ることができます。
 しかし、私たちは今ここにある空気、健康、幸せ、そして安全に対してほとんど関心を持つことはなく、失われて初めてその大切さに気付くのです。そして、守られた命でさえ、それが具体的にない限り、大きな評価を得ることはありません。
 交通事故で失われた命の数は明確ですが、安全運転、交通安全活動によって守られた命の数は誰にもわかりません。対前年比はひとつの指標でしかなく、減少数とは、守られた命の数ではないからです。前年比で死者数が10人減少したとしても、守られた命の数は10とはいえず、数えることはできません。そして、守られた命が誰なのかなんて、誰にもわからないのです。
 数えることができないもの、比較することができないこと、見えないものに価値を認めることは、人としての理性や想像力に委ねられるため、しばしば後回しにされ、時に忘れられています。
 澄み切った青空、遠く広がる海、遥か天空に誉える山々、野に咲く草花など、それぞれの美しさはその場所に佇み、心静かに眺めることで感じることができます。心洗われるその美しさの中で、生きていることの大切さ、その幸せを感じることができます。
 しかし、見えないもの、数えられないものの大切さは、しばしば忘れられ、蔑ろにされてしまいます。
 交通死亡事故で亡くなられた数多くの人たち、その一人一人は、

かけがえのないたった一つの命でした。犠牲者ご本人だけではなく、そのご家族、そして加害者自身とその家族にとっても、その1件の交通事故こそがすべてです。その年、県内で何件の死亡事故が発生したかなど、何の意味も価値もありません。
 それを考えたとき、対前年比で増えた減ったと一喜一憂したり、全国ワーストの返上が悲願と訴える言葉の儚さを思います。
 安全運転を指導すること、安全運転を続けることは、目に見えない安全というものに対して真摯に向き合い、そこに自ら価値を認めることなのだと思います。
 部下を導く者、安全運転管理者には、安全という見えないものに価値を認め、数えられないものの価値の大きさを推し量り、それを伝えることが求められています。
 数値を目的とすることはわかりやすいのですが、それを目的とすることによって指導が対症的になります。もっと気をつける、事故するな……と繰り返すことになり、数年後に振り返ったとき、何も変わっていないことに気づくのです。
 誰もが気がつけていたのに事故を起こしたのであり、気をつける、事故するなという指導で事故が減ることはありません。安全運転を続けることによって、自分や家族の人生を守るものの大切さについて、自らの言葉で部下に伝えなければ、何も伝わりません。
 社内の事故が前年比で減少することが安全運転管理の目的ではなく、その減少数が安全運転管理者の成果ではありません。1年という期間だけで評価し、一喜一憂するのではなく、社員一人一人の運転行動の変化、会社という組織の進化・発展を目指すべきです。
 私たちは、交通事故防止という課題を通じて、交通事故の件数を減らすことだけではなく、人を守り、未来に向けて、本当に安全な交通環境を創る気概を持つべきだと考えています。

AAKK 小

(出典:公益財団法人愛知県安全運転管理協議会発行 AAKK1月号)